

真誠

言葉の「ち・か・ら」
副校長 奥山 奈菜子

学校だより
No.10
西東京市立
田無小学校
令和3年
1月29日

「あつたかい言葉」が大切であり、「あつたかい言葉」を意識することが大切なのだと考えます。

西東京市では、昨年の九月より、西東京市全ての小・中学校の教職員を「西東京あつたか先生」とし、「西東京子ども条例」や「人権教育の理念」のもと、一人一人の子供たちを大切にすることを、毎週必ず教職員全員で確認する時間を設けて、お互いに子供たちの人権について学んだり、確認をしたりして「西東京あつたか先生」としての行動指針を学んでいます。一言で「あつたか先生」と言っても、これを言ったら、この行動をしたら「あつたか先生」という具体的なものはありません。私たち教員一人一人が、学校教育において、日々の子供たちとの生活の中で「あつたかい」教育とはどのようなものだろうかと想像しながら、子供たちと向き合っていく必要があります。

先日読んだ新聞に、このような内容がありました。「言葉には温度がある。自分のことを思っている言葉を聞けば、心は温かくなる。他者を顧みない自己中心的な言葉を聞けば、心は冷たくなる。言葉の温度が言葉の力であり、温度は言葉を発する人の「相手を思う気持ち」の強さで決まる。」と。全くその通りだと感じました。西東京市のめざす「あつたか先生」も、私たち一人一人の心の中にある、人を思う「あつた

私は、田無小学校に赴任してきた三年半前から欠かさず行なっていることがあります。それは、子供が保健室を訪れた時には、必ず校長か私が子供たちの様子を確認することです。これは、一つには怪我や調子の悪さを複数の目で確認する意味でもあるのですが、もっと大切なことは、「あなたを心配している」という気持ちを伝えたいからなのです。子供でも大人でも痛いときや辛い時に、「あなたを心配している」という気持ちが伝われば、心がポカポカしてくるのではないかと思うのです。

状況の確認だけではなく、「あなたのことが心配だから」「あなたを見ているよ」ということが大切であり、廊下ですれ違ったとき、登校時に迎え入れたとき等、できる限り声をかけるようにしています。様子を見た後は必ず「お大事に」と伝えると、子供たちは「ありがとうございます」と言ってくれます。少しでも「あつたかい」気持ちになってくれることを願っています。

家庭教育でも同様のことが言えると考えます。私が子育てをしていたときのことです。職場に出勤した頃、わが子から携帯に電話がかかってくるのが何度かありました。その際に私が心掛けていたことは、まずは明るい声で電話に出て、どんな内容を聞いても、

たとえ泣いていても、「大丈夫よ」と優しく、そして温かく一生懸命に声をかけ続けることです。そして、できる限りの方法を伝え、安心感をもたせてあげることです。私の「大丈夫よ」を学年主任の先生が何度か聞いており、その度に「奥山先生の大丈夫よは、静かな声ながら力強い大丈夫ですよ」と笑いながら褒めてくださいました。わが子が落ち着いて学校へ行けるようにとの一心が、一生懸命に声をかけることで、安心して登校してほしいとの思いの表れとなったように感じます。

私たち親は、忙しさの中で、必死に子育てをしていることと違います。わが子を心配して子供たちにかける「あつたかい言葉」は、前述した、「相手を思う気持ちの強さ」です。あなたを思っているというおうちの方からの温かい言葉です。

それとは反対に、言葉のちからは、時として相手を傷つけ、悲しみに陥らせてしまうこともありまます。たつた一言「大丈夫」と言ってもらえれば解決ができたことでも、失敗を責め、弱さを受け入れず、できないことだけをあげつらえば、そこに残るものには未来がなくなくなってしまいます。学校やご家庭は、共に手を携え、大切な子供たちを「あつたかい言葉」で育んでいきたいと考えます。いつも明るく元気に、にこやかに子供の幸せを願い、教職員一同行動してまいります。

二月の主な行事予定

1	月	委員会
3	水	午前授業 安全指導 薬物乱用防止教室 (6)
4	木	避難訓練
5	金	5時間授業・校内書初展終
9	火	新一年生入学手続日
12	金	新一年生入学手続日
15	月	クラブ クラブ見学予備日
16	火	クラブ発表会
17	水	6時間授業 (一・二年生は5時間)
20	土	土曜授業・土曜時程 移動教室代替行事 (6)
22	月	わかば校外学習
24	水	6時間授業 (一年生は5時間)
25	木	社会科見学 (3)
26	金	六年生を送る会

い いじめ防止対策委員会
虐 児童虐待防止校内委員会

※今月のスクールカウンセラー来校日は5日、12日、19日、26日です。相談のある方は、来校日に直接又は、担任を通して申し込むか、来校日のAM9:00~9:20に463-5902(相談室直通)または学校に連絡してください。

ふれあい月間

生活指導主任 金子 嘉良

西東京市では、六月、十一月、二月に「ふれあい月間」が設けられています。各学校が、はじめや不登校、問題行動の未然防止、早期発見、早期対応につながる具体的な取り組みを行います。田無小では「一人一人に、〇〇さんと呼名して出席を確認し、表情を確認すること」や「学級の児童に一日一回以上、個別に声をかけること」などを、いつも以上に意識し、教職員全員で、一人一人の児童を見ていく体制を整えています。

また、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、新しい生活様式も実施しています。換気の徹底や、手洗いを、児童の健康面や情緒面にも配慮し、指導を進めています。今後も、児童が安心して登校し、充実した学校生活が送れるように教職員一丸となって取り組んでいきたいと思えます。

本気・全力・一丸

五年学年主任 藺牟田 雄一

五年生は、学年のスローガンを「本気・全力・一丸」として、これまで学習を続けてきました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、様々な行事が変更・中止になり、活動が制限される中ではありましたが、今できることに精一杯取り組んでいます。

委員会活動では、みんなのために働くことの大切さを感じながら、一生懸命活動をしています。その活動の中で、他学年の児童に優しく接する姿には大きな成長が表れています。

また、五年生は体を動かすことが好きです。休み時間には、多くの児童が校庭を駆け回っています。音楽に合わせてダンスを踊ることも大好きです。体をしっかり動かし、心を鍛え、六年生に向けて進んでいきたいと思えます。

移動教室代替行事(第二弾)

六年学年主任 我妻 研

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、六年生の移動教室が中止となりました。せっかくの行事が実施できず、代わりにできることはないか、思慮を重ねました。そして、二学期の終わりに第一弾として、国会の社会科見学の後に、スカイツリー見学に行きました。(感染防止のため、通常のバスの二倍の、六台のバスで行きました。) 好天に恵まれ、良い景色を堪能し、お土産まで買うこともできました。

三学期は第二弾として、学校で代替行事を行う予定です。校内で謎解きワークラリーやナイトウォークをしたり、校庭でキャンプファイヤーや花火大会などを行ったりします。感染拡大防止に十分配慮しながら、少しでも仲間とのよい思い出がくれるようにしっかりと取り組んで参ります。

書き初め展と勝負感

浅山 光一

人生には失敗の許されない勝負が何回かありますが、小学生の書き初めは、これに当てはまると思います。一筆入魂。消しゴム使用禁止。緊迫した状況で最高のパフォーマンスができるよう、何度も練習を重ねてきました。

毛筆は道具の扱いから難しく、清書用紙が並ぶだけで、空気がガラッと変わります。「よい作品にしたい」という思いから、誰もが集中して筆を持ちます。始筆の位置を定める鋭い目、失敗の嘆きに寄る眉根、作品完成の喜びに持ち上がる頬、一人きりの空間で起きる表情の変化は、試合に挑む選手のようにです。硬筆は机の上こそ普段と同じですが、その手と目には数倍の意識を集中させるので、終わった後はクタクタになります。心のこもった作品を眺めると、そんな子供たちの真剣勝負の様子が目に浮かびます。

作品を持ち帰った時は、全力で褒めてあげてください。「頑張ってたよ良かった」と言える思い出になれば、きっと次の勝負に繋がります。